

校外研修(1年生)

7月27日

大学や最先端の科学に対する興味・関心を高めるために、理数科1年生が北九州市立大学 国際環境工学部(ひびきのキャンパス)を訪問しました。お昼からの訪問だったので、昼食は大学内の学食を使用させていただきました。キャンパス内を散策する生徒もいて、大学生気分でお昼の時間を楽しんでいました。昼食後、講堂で大学説明会や八高の先輩との交流会があり、大学生生活や研究についてのお話などを聞くことができました。その後、班に分かれて講義や実験などを行いました。少し難しい内容もあったようですが、先生方や大学生のサポートのおかげで、有意義な時間を過ごすことができました。

環境生命工学科

「感染症の広がり方をシミュレーション」
加藤 尊秋 教授

情報システム工学科

「照明で変わる色の見え方」
早見 武人 准教授

機械システム工学科

「工学測定と3DCAD 設計」
宮國 健司 准教授

環境生命工学科

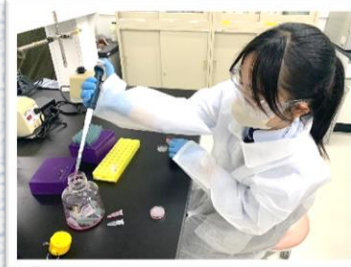
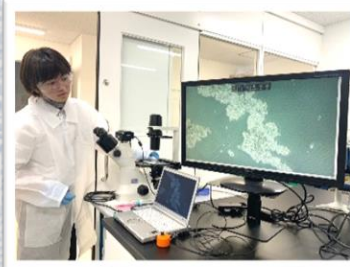
「動物細胞を取り扱ってみよう」
中澤 浩二 教授

建築デザイン学科

「パスタで作る構造模型の強さコンテスト2023」
城戸 将江 教授

エネルギー循環化学科

「電解めっきと無電解めっき」
郡司 貴雄 講師



私は、情報工学の講座を受けました。宇宙開発や人工衛星の改良が、私達の生活をより豊かにしてくれることや、不動産業や農業に有効活用され、新たな事業が行われていると聞き、大変興味深いです。今回のイベントは、大学のイメージをより鮮明にできる良い機会になりました。

1年 平野 蒼太(中央中学校)

私は、エネルギー循環化学科を選択し、メッキについての実習を体験しました。実験室には、今まで見たことのない装置や規模の大きな装置がたくさんあり、わくわくしました。担当の先生が、電解メッキと無電解メッキの良さや違い、具体的にどのようなことに使われているかなどを丁寧に分かりやすく教えて下さいました。今回の体験で化学への関心が高まりました。

1年 高嶋 奏斗(遠賀中学校)

大学はとても広くて、それだけで小さな町のような感じ。体験した内容はとても難しかったですが、大学生になったら、自分もできるような一層勉強を頑張ろうと思った。学校説明では、学部などについてのお話があった。今までは、あまり学部やコースについて興味や関心をもって調べたことはなかったが、とても細かく分かれていることがわかった。今後大学をもっと詳しく調べようと思った。

1年 古本 奈々(思永中学校)

今回初めて大学訪問に行ってみて、大学の規模を肌で感じる事ができ、これからの将来のビジョンを大幅に広げることができた。また、さまざまな体験活動を通して、学科ごとの学習内容の違いなどを知ることができ、これからの進路選択にかなり役立ちそうだと感じた。今回の経験を活かして、これからの学校生活も頑張っていきたい。

1年 石西 泰(熊西中学校)

教科科目横断型授業(3年生)

「耳の構造と聴覚について」

7月27日

理科(物理・生物)

耳の構造、聴覚に関する情報伝達の仕組みを生物学的に学習し、鼓膜、耳小骨やうずまき管が物理的にどのような役割を果たすのか、力学や波動の知識を用いて考察する

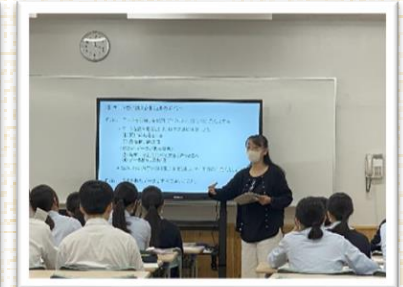


「体育理論から読み解く社会問題」

9月29日

国語科・保健体育科

保健体育で学習した内容や、SDGsの視点などを使って、「スポーツの役割とスポーツライフの設計」についての理解を深める



「WHAT IS A REFUGEE?」

10月24日

英語科・地歴公民科

難民問題を取り上げ、地歴公民科による講義を通じて、難民問題についての知識・理解を深め、英作文を作成する

